

2020 年度事業 進捗報告書(資金分配団体)

- 提出日:2022 年 10 月 28 日
- 事業名:
- 資金分配団体:一般社団法人 RCF

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
【生活再建支援】 ・住民主体のコミュニティが形成されている ・新たな活動母体や枠組みが形成され、運用できている	・企画新規参加人数及び継続参加人数(運営・参加共に) ・活動母体や枠組みの組成数	・住民を巻き込んだ企画の実行ができています ・住民や地域外メンバーと連携した活動母体や枠組みが組成されている	2023/02/28	・東北圏)住民団体3つの活動再開支援を通じて、計14名の担い手を育成した。また公園の運用に関わる6団体へヒアリングし、今後の情報交換/事業連携の意思確認を行った。公園の管理制定に向けては自治体×民間団体等で月1回の会議を継続開催し、規定等を整理している状態。 ・SET)2022年度プログラムを実施する中で、従来の学生主体で個別の住民と連携する形から、課題解決強化を目的に、学生と住民の連携体制(SETは両者のコーディネーション)へ転換を図っているところ。その一環として、まずは陸前高田へ常駐するSETが主体となり、プログラム参加学生とともに、住民との連携強化に向けて漁業事業者等7名と情報交換を実施し、地域課題の把握/分析につなげている状態。 ・宇和島NPOセンター)吉田地区でのサロンに参加した高齢者の中で2-3名の方が、地域食堂の運営手伝いボランティアに参加したり、地域内での拠点作りに向けた住民参加の場作りが生まれている。三間地区は、地域内の関係性を理解した上で、進めている状況であり、今後半期にて、来年度につながる体制・事業について検討を行っていく。	2

<p>【産業再生支援】</p> <p>・実行団体が目指す成果が達成されている状態</p>	<p>・ワーケーション体制が構築されているか</p> <p>・コミュニティビジネスの仕組みが構築されているか</p>	<p>・ワーケーションにより外から人を呼び込む仕組みができている</p> <p>・コミュニティビジネスで地域内でお金が循環する仕組みができている</p>	<p>2023/02/28</p>	<p>・ドットリバー)地域内で、ワーケーションにて新たな顧客獲得の動きが生まれている(10 企業の呼び込み・13 宿泊事業者および 12 飲食店の連携 等)。また、10 月後半以降にも、新たに域外からのワーケーション受入の予定あり。</p> <p>今後、地域外の人々が訪問するきっかけとなるコンテンツとして育成すること、またその取り組みを通して、地域内の事業者が関係人口・ワーケーション活用に関する理解を深めて、情報連携・顧客連携していく地域づくりを目指した取組を検討している状況。</p>	<p>2</p>
--	--	--	-------------------	---	----------

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
<p>実行団体が地域の中核となって復興支援を進められている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各実行団体で設定されたアウトプット ・各事業の継続に向けた体制・資金計画 ・地域の事業成果 	<ul style="list-style-type: none"> ・各実行団体が設定されたアウトプットを実行 ・体制・資金計画策定 ・各地域の事業成果を情報発信 	<p>2023/02/28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SET)従来の学生主体の体制から、課題解決強化を目的に、学生と住民の連携体制(SET は両者のコーディネーション)へ転換を図っているところ。その一環として、まずは陸前高田へ常駐するSET が住民との連携強化することを目的に、広田地域:漁師組合関係者等 3 名、小友地域:コミュニティ推進協議会関係者等 4 名と今後連携することで合意したところ。 ・東北圏)今年度末までに住民団体 6 つを活動再開させるが、いずれも次年度の自治会予算や自治体予算を活用することで活動継続が可能。また 6 団体ともコロナ前は定期的に活動しており、メンバー構成もほぼ変化ないため、体制面でも懸念はないと考える。 ・宇和島 NPO センター)当初計画通り、吉田地区、三間地区、宇和島地区の 3 つの地区のキーマン(地域支え合いセンター、もみの木、地区の自治会組織 等)とコミュニケーションを図り、それぞれの地区にあった拠点づくりに向けて検討を進めている。その結果として、吉田地区では、50 名程度の高齢者を含むサロンという場づくりができ、地域支え合いセンターと連携し、個別の見守りにつながる、コミュニティ活動を実施している。 ・ドットリバー)宿泊事業者、飲食事業者含めて、連携し、ワーケーション事業を実施している状況。また、域外からの訪問企業・個人を、ワーケーションコンテンツとして、域内事業者・個人を巻き込み実施し、域内外の連携を生んでいる。 	<p>2</p>

<p>実行団体の中長期的な運営に向けて、事業内容の改善、人材や資金の確保など運営基盤が強まっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に携わる人数が増加、或いは世代が広がっているか ・資金やその元となる事業柱が新たに確立運用できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達や新事業組成により、事業の方向性が明確になっている、または継続性が高まっている ・事業継続に必要な人材や資金を確保している 	<p>2023/02/28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北圏)公園の運用管理を担う民間団体と自治体の間で、費用面の交渉が必要な状況。10月上旬に実行団体等が他地域祈念公園の運用管理団体等へヒアリングし、自治体との交渉方法/規定等を引き継ぐこととしている。また団体の事業継続に向けて他助成金等の活用も想定しており、11月以降に計画策定することとしている。 ・(ドットリバー)人吉市、隣町となるあさぎり町におけるワーケーション事業の取得等、ワーケーション受入に向けた助成金事業の取得等を進めている状況。次年度に向けて、ワーケーション・関係人口獲得に向けて、地域内の事業を活用し、事業を推進中。 	<p>2</p>
<p>実行団体等の活動や成果を事例として発信している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行団体の事業プロセスと成果が整理できているか —取組結果のみならず、そこからどんな成果が生まれたかを可視化できている ・「復興BASE」での発信記事数 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスも含めた実行団体の活動と成果を発信できている 	<p>2023/02/28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は実施しているが、企業・地域団体・行政の復興支援への関心度を高める施策まで至っていない。また、本事業を推進しながら、並行して、日本各地にて災害が発生しており、復旧・復興への支援の必要性は高まっているが、企業側の支援ニーズは、支援先の規模に対して、高まっておらず、厳しい状況となっている ・本取り組みを通して、企業・地域団体・行政等のニーズが高まることは、中長期的な取組となり、そこにつなげていくための、本事業の団体における地域内外の活動の認知度向上に向けた取り組みという目標としたい。 ・本事業の活動・地域団体の情報発信強化を行い、地域において認知を高めることで、団体の事業継続を模索する流れを検討していく必要あり。 	<p>2</p>

<p>事業の枠組みを超えて実行団体同士で情報交換等ができるネットワークができています</p>	<p>・実行団体のメンバー同士が認識できているか ・情報交換を行ったことがあるか</p>	<p>実行団体同士が連携できるネットワークが構築されることにより、活発な情報交換が行われている状態</p>	<p>2023/02/28</p>	<p>・宇和島 NPO センターと一般社団法人 TECO(第一期休眠預金対応)にて、足湯等の被災住民向けの取り組み、被災住民が抱える課題と対応策等、両者の地域と取り組みに関する情報交換を実施。このように、実行団体間のノウハウ・知見共有により、活動自体のブラッシュアップが図られる機会を期待したが、地域ごと課題・取り組みは異なり、ノウハウ生かした取り組みまで至っていない(実行団体同士の情報交換自体は前向きな意見であったが、終了後連携により、新たな動きが生まれたことはない状況。ノウハウの交換だけではなく、各地区の実態に即した方策の検討まで必要なイメージ)</p>	<p>2</p>
--	--	---	-------------------	---	----------

* 進捗状況:1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
<p>A:変更項目 <input type="checkbox"/>変更なし <input checked="" type="checkbox"/>短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/>アウトカムの目標値</p>
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
<p>・東北圏及び SET は地域内外の住民/関係者が集う場の企画開催が多く、また、コロナの先行き不透明であるため計画が立てづらい状況であった。そのため来年3月に達成するアウトカムに向けて、①必要な要素②そのうちオンラインでできること/関係者間の小さな集まりでできること③オフラインでなければできないことに分けて整理し、順序立てて事業設計することを心掛けた。</p>

6. 実行団体の進捗に関する報告

・東北圏)

ー復興祈念公園の運用管理構築に向けた自治体との論点は、ボランティアへの報酬規程。神戸の公園管理団体から収集した意見を踏まえ、さんサポートプロジェクト×社協でベース構築し、11月より自治体と協議開始→12月さんサポート内の体制/運用ルール協議会議を想定。
ーさんサポートプロジェクトが①仕組構築/運用②イベント運営の両方を担っており、①を圧迫している状況。住民団体と②を棲み分ける方向で連携協議中。

・SET)

ー3地域ともインターン継続中。9月は学生40名×地域住民80名で地域現状整理→10月に課題設定→12月試行を想定。
ー地域住民が主体的に課題解決に取り組む体制を目指し、SETと地域住民の協議会設立を検討している段階。残半年での設立を目指して、スケジュール設計等に着手中。

・宇和島 NPO センター)

ー三間では、他団体と連携した、地域内連携の企画を検討中 12月ごろ(主要団体:もみの木 高齢者中心)
ーサロンでは、50名程度の登録者がおり、吉田地区では被災者含めた高齢者とのネットワークを活かした事業展開
ー宇和島市では、上記防災の観点も含めて地域食堂推進を引き続きサポート中

・ドットリバー)

ーワーケーションの受け入れは継続中(10月、11月、1月にて、域外より5-6社受入予定)
ーワーケーション事業に支援を受けたPMJ社の社員ボランティアの受入、記者発表を実施(9月1日)
ー別事業にて、熱中小学校・社会人の学びなおしの場を企画し、150名程度の参加者を確保。この参加者向けのワーケーション企画を立案し、全国に向けて発信予定

③広報(※任意)

- 1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等